

プレスリリース

2014年10月27日

クレディ・スイス銀行東京支店およびクレディ・スイス証券株式会社の プライベート・バンキング本部顧問に川島孝幸が就任

クレディ・スイスは本日、川島孝幸がクレディ・スイス銀行東京支店およびクレディ・スイス証券株式会社のプライベート・バンキング本部顧問に就任したことを発表しました。川島は今後、クレディ・スイスの日本におけるプライベート・バンキング共同本部長である大橋雅英およびクリスチャン・フーバーの直属として、東京を拠点に業務に当たります。

クレディ・スイス入社前は、川島は SMBC 信託銀行(東京)で取締役副社長として営業・商品統括の責務を担いました。また、SMBC 信託銀行の前身であるソシエテ・ジェネラル信託銀行を中心に 15 年以上に渡ってプライベート・バンキング業務に携わり、国内の富裕層顧客のニーズに精通し、富裕層向け事業の戦略策定及びその推進について豊富な経験と専門知識を有しています。

今後、川島はクレディ・スイスの日本におけるプライベート・バンキング事業の発展と拡大に向け、新商品・サービスの開発を指導すると同時に富裕層顧客のニーズに対応するリレーションシップ・マネジメント部門統括のサポートにあたります。

今回の川島の就任について、クレディ・スイス銀行東京支店およびクレディ・スイス証券株式会社のプライベート・バンキング共同本部長である大橋雅英は次のように述べています。「川島氏をクレディ・スイスに迎えることができ、非常に嬉しく思います。川島氏はプライベート・バンキングについて非常に豊富な経験を持ち、国内の富裕層顧客の求めるニーズを熟知しています。川島氏の経験やスキルは当社の事業にとって大きな力になるものと確信します。」

さらに、クレディ・スイス銀行東京支店およびクレディ・スイス証券株式会社のプライベート・バンキング共同本部長であるクリスチャン・フーバーは、次のようにコメントしています。「プライベート・バンキング事業において日本は重要な市場のひとつであり、当社は国内におけるプレゼンスの拡大に精力的に取り組んでいます。経験豊富な人材を社内に迎え、プライベート・バンキングを専門とする社内体制の整備に継続的に取り組むことは、お客様にとって長期にわたって信頼できる確実なパートナーであり続けるために、当社が真摯に努力を続けていることを改めて示すものです。」

クレディ・スイスは、2009 年にプライベート・バンキング事業を開始し、2012 年には HSBC の日本におけるプライベート・バンキング事業部門を買収、日本における富裕層向け金融サービスの拡大・強化を図っています。東京に加え、大阪、名古屋に拠点を有し、幅広い地域をカバーできるだけでなく、プライベート・バンキング業界をけん引するグローバルな総合金融サービス機関としての強みを最大限に活かし、富裕層顧客一人ひとりのニーズに応える幅広い商品と資産運用に関するコンサルティング・サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせ先

クレアブ・ギャビン・アンダーソン(クレディ・スイスの広報代理) 電話: 03-5404-0640

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザリー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約45,100人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式(CSGN)はスイスおよび米国預託証券(CS)としてニューヨークで上場しています。

日本語サイト: <https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>

グローバルサイト: www.credit-suisse.com